

地 域 再 生 計 画

(宇治田原町「快適な暮らしと自然をまもる町」再生計画)

事後評価シート

京都府 宇治田原町

評価結果まとめ

事業主体	京都府宇治田原町	地域再生計画名	宇治田原町「快適な暮らしと自然をまもる町」再生計画	計画期間	平成17年度～平成21年度
------	----------	---------	---------------------------	------	---------------

1 地域再生計画の目標	汚水処理施設の整備の促進（汚水処理人口普及率を62%から77%に向上させる。）
-------------	-----------------------------------------

2 目標を達成するために行った事業	公共下水道の整備	宇治田原町南地区、岩山地区、立川地区、禅定寺地区の汚水管渠整備
	浄化槽の整備(町・個人設置)	宇治田原町高尾地区、奥山田地区の浄化槽整備(町設置)、公共下水道整備区域外の浄化槽設置(個人設置)

3 目標達成状況	項目	基準値及び基準年度		目標値及び目標年度		実績値					結果
						H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	
	汚水処理人口普及率	62%	H16年度末	77%	H21年度末	68%	70%	73%	75%	77%	目標値の達成

4 事業計画と実績	項目	H17年度		H18年度		H19年度		H20年度		H21年度		合計	
		計画	実績	計画	実績								
	公共下水道(整備延長)	2,110m	2,110m	2,740m	2,743m	2,350m	2,355m	2,000m	1,839m	2,000m	1,526m	11,200m	10,573m
浄化槽(町設置基数)	19基	19基	1基	1基	4基	4基	4基	4基	3基	2基	31基	30基	
浄化槽(個人設置基数)	5基	5基	5基	5基	7基	7基	8基	4基	5基	3基	30基	24基	

5 事後評価及び今後の方策	事後評価	<p>地域再生計画の目標である汚水処理人口普及率は、目標値どおり達成することができた。</p> <p>事業計画に対しての整備量は、公共下水道は計画期間の後年で整備延長が減少したが、処理場の増設工事に取り組んだことにより、事業費調整を行った結果によるものである。また、浄化槽は概ね計画通りに実施できたが、人口減少、高齢者世帯が多いことから設置基数は減少した。</p>
	今後の方策	<p>本町の汚水処理人口普及率は、他自治体に比べ低いことから、今後も汚水処理普及区域の拡大に努めなければならない。また、公共下水道の整備済み区域の拡大に伴い、水洗化（接続）の向上にも取り組まなければならない。なお、公共下水道計画区域外の浄化槽整備が課題となっているが、効率的な整備方法を検討し、全町水洗化を目指す。</p>